評価項目		令和4年度。高山南商工会。経営発達支援計画評価委員会評価表													
	評価委員の意見	改善点等の 指摘事項	各委員の評価									総合			
и штя п			1	2	3	4	(5)	6	7	8	9	評価	成果・課題等	評価	
①地域の経済動 向に関すること	引き続き対象者に「伝わる」取り組み をお願いしたい。 目標以上の実績をあげている。	情報をいかに会員に知ってもらえるか検討が必要。 難しいため口頭で説明もらいたい。	В	В	A	В	В	В	В	В	В	В	全国連委託事業で製造業3者・建設業2者・小売業4者・サービス業6者を対象に景況調査を年4回実施し地域産業の状況や経済動向等について報告書を提出。地域経済動向調査レポートを年4回発行。周知方法は当会HP掲載と巡回や郵送による配布。	B	
②経営状況の分 析に関すること	サンプル収集が多くできている。 今後も情報提お願いしたい。 おおむね目標を達成できている。	調査対象事業者数を増やす。	В	В	A	В	В	В	В	В	В	В	市場ニーズに適しているか、優位性が持てるか、判断を行う材料として、小売業者と製造業者を対象にイベントや展示会に出展した際、訪れた顧客や事業者に対して聞き取りアンケートを実施。調査結果は、商品の改良や新商品開発に活用するためのデータとして提供した。		
③事業計画策定 支援に関するこ と	良好である。 経営分析は重要であり事業者に役立っ ている点は評価できる。		Α	В	Α	В	В	В	В	А	В	В	日本政策金融公庫で推奨している財務診断ツールなどを活用し、管内の事業者15件の過去3年間の決算書より、収益性、生産性、安全性などについて業種別の経営指標と比較した。経営分析から課題を抽出、経営者に財務状況を知ってもらうことで経営上の様々な活用や判断に役立ててもらうことができた。	В	
④事業計画策定 後の支援に関す ること	I T活用を広げる。 コロナ禍でよく努力している。DXセミナーなど求められる事業が行われている。		А	В	В	Α	В	В	А	В	В	В	講習会では、急速に進むデジタル集客のために初心者でもわかるDXについてセミナーを開催。計画書策定に関しては、経営計画を策定することは、自社の強みや弱みの掘り起こし、市場の動向などの外部環境を把握することで戦略を立てることができるため、計画の重要性や必要性が事業者に理解してもらうことができた。	В	
⑤需要動向調査 に関すること	回数が多くて良好である。 積極的な事業者支援が行われ売上等の 増加事業者が増えている。 目標を上回る支援延べ数には敬意申し 上げる。		A	В	A	Α	Α	В	Α	А	В	A	策定した事業者には、定期的なフォローアップを行うことができた。計画書通り進行しているかの確認や軌道修正などを行った。持続化補助金などを活用した事業者は、補助事業の効果・成果を検証し期限内に実績報告書が提出できるように支援できた。	_	
⑥新たな需要の 開拓に寄与する 事業に関するこ と	将来のビジョンを描いたうえで求められる事業の実施、事業者への支援が行われている。 目標が達成できなかったと思われる。		В	В	В	В	В	В	В	В	В	В	展示会や商談会へ出展では、飛騨の家具フェスティバルへの 出展支援を実施。大規模な展示会や商談会の出展に対し、事 業者のみで参加することは人手、ノウハウ、費用等様々な障 壁があるため、域外へ広く販売していく意向の強い事業者に は出展に向けた準備から当日の運営、その後の商談成立に 向けて一貫して支援を実施していく必要がある。持続化補助 金を活用した事業者で、新たにネットショップを開設支援を実 施。急速するデジタル集客のための支援を強化したい。	В	
⑦地域経済の活 性化に資する取 組み	とても良かったと思う。 ネーミングもよく検討されており、発 信力のある事業展開が図られた。女性 に対して好評であった印象。 コロナ禍でたいへんな状況の中、地域 経済活性化のため尽力いただいた。	多めにやってほしい	Α	Α	A	A	A	A	А	А	А	A	染症経済対策支援「高山市産業団体等活性化策支援事業補助金」制度(第4弾・第5弾)を活用し、「わくわくスプリング商品券発行事業」と「2022たかやまみなみ夏得まつり」事業を実施した。管内で推定売上3900万円の経済効果があった。今後も市や県の支援補助金を活用した事業を積極的に実施していきたい。		

評価基準: A 達成することができた。 B おおむね達成することができた。 C 半分程度しか達成することができなかった。 D ほとんど達成することができなかった。 E 未実施